

# 専門研修の募集定員について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

# 専門研修募集定員をめぐる動き（第1回協議会のからの経緯）

## 第1回 和歌山県医療対策協議会（令和元年8月2日開催）

【議題】 専門研修プログラムについて

- 「専門研修制度に関する和歌山県の意見について」の協議を実施
  - ・シーリングの算定方法の見直し
  - ・地域枠医師等についてシーリングの枠外での採用を可能とすること 等について国に意見すること了承



## 8月8日 国から、専門研修プログラムに関する情報提供

- 県内の専門研修プログラムについて、地域の医療提供体制への影響を確認し、地域医療対策協議会の意見を聴取した上で国に提出



## 第2回 和歌山県医療対策協議会（令和元年8月29日書面開催）

【議題】 専門研修制度に関する和歌山県の意見について

- 「専門研修制度に関する和歌山県の意見について」の協議を実施
  - ・第1回で協議した内容に、地域の医療提供体制への影響の観点から、県内の3プログラムについての意見を追加

→**本県の意見書を厚生労働省に提出（参考資料1）**

## 9月11日 医道審議会医師分科会医師専門研修部会

- 都道府県からの意見を集約し、2020年度専門研修プログラムに対する、厚生労働大臣からの日本専門医機構への意見・要請案について協議



## 9月20日 厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請についての回答

- 「令和2年度開始の研修プログラムのシーリングに関すること」として、以下の内容が改善された
  - ① 地域医療対策協議会で認められた地域枠医師及び自治医科大学出身医師はシーリングの枠外として、採用を可能とする
  - ② 過去2年間の採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を、過去2年の採用数のうち大きい方とする 等



## 第3回 和歌山県医療対策協議会（令和元年10月25日書面開催）

【議題】 令和2年度専攻医募集における地域枠医師等の取扱いについて

- 本県における地域枠医師等の取扱いについて協議を実施
    - ・和歌山県立医科大学地域医療枠・近畿大学和歌山県地域枠(へき地医療コース)・自治医科大学の卒業医師で、シーリング対象診療科を希望する者については、全てシーリングの枠外で採用することです承
- 対象者リストを厚生労働省あて提出

# 本県が提出した主な意見の反映状況

## 専門研修プログラムに関する意見（本県意見の反映状況等）

No.	専門研修に関する本県の意見	国及び日本専門医機構の回答
1	専攻医が著しく多い東京都とその他の地域のシーリングを区別して、それぞれの算定方法を見直し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること	令和2年4月のデータを解析し、令和3年度以降の医師偏在が悪化しないような方策をとっていく
2	シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、病院勤務医と開業医とを厳密に区別すること	(未回答)
3	シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること	大学病院などの医師の教育・研究のエフォート（時間の配分率）を明確にするため、各大学や文部科学省とも協力して検討する
4	必要医師数の算定根拠となっている「専門医制度における基本診療領域と疾病等との対応表」を公表するなど、シーリングに係る計算方法の全容を明らかにすること	(未回答)
5	東京都への専攻医の集中を抑制できていない状態で募集された過去2年間の採用実績を、シーリング数の算定に使用しないこと	過去2年間の採用数のいずれかが10未満の場合は、そのうち大きい方とする 過去2年の採用数が極めて少ない都道府県別診療科については、シーリングを外す（5名というシーリングはなくなる）
6	へき地等での勤務が課されている医師（県立医科大学地域医療枠、自治医科大学等卒業医師）については、専門研修プログラムの募集定員外での採用とすること	医師少数区域等に従事要件のある自治医科大学卒業生や地域枠医師については、各都道府県の地域医療対策協議会からの申請に基づき、シーリング対象外として取り扱うこととする
7	地域での従事要件が課されている医師については、他地域（他の都道府県）の専門研修プログラムに採用されない仕組みを構築すること	(未回答)
8	専門研修制度の変更等にあたっては、必ず事前に都道府県で十分検討できる時間を設けるとともに、地方から提出された意見については最大限配慮すること	募集までのスケジュールを見直し、地域医療対策協議会において十分に議論できる期間を設けるとともに、意見を反映できるよう募集開始時間までの期間も十分に設ける

# 令和2年度募集におけるシーリング対象診療科の登録状況

## ◆令和2年度専攻医募集におけるシーリング対象の診療科と定員について

基本領域名	H31 募集定員	募集定員上限 (シーリング改善前)	募集定員上限 (シーリング改善後)
内科	4 5	2 1 + 2 (連携)	2 1 + 2 + 地域枠医師
整形外科	1 3	5 + 1 (連携)	9 + 地域枠医師
眼科	3	5	対象外
脳神経外科	3	5	対象外
リハビリテーション科	6	5	対象外

内科・整形外科の  
2科のみ対象

## ◆シーリング対象診療科における専攻医登録状況（令和元年11月19日時点）

基本領域名	登録者数	うち、地域 枠医師等の 合計				採用実績	
		県立医大 地域医療枠	近大和歌山 県地域枠	自治医大	H30	H31	
内科	2 5	5	2	2	1	2 3	2 4
整形外科	1 0	1	1	0	0	9	3

- 専門研修プログラムの一次募集の採用期間は令和元年11月25日～12月15日
- 今後の採用状況により変更の可能性あり

# 令和3(2021)年度以降の募集定員確保に向けた取組について

## 日本専門医機構の動き

- 「2021年度専門医養成数に関する検討協議会」を設置
- 今年の夏以降、各学会及び全国知事会等からヒアリングを実施
- 令和2(2020)年2月頃に、2021年度専攻医シーリングの機構案を発表予定

## 本県の取組

- 令和2(2020)年度募集における改善策では、地域医療への懸念が払拭されないため、様々な機会を捉えて、**制度の抜本的な見直しを要望**

## 【本県の要望】

- (1) 専門研修制度において解消すべきは診療科偏在であり、地域医療を崩壊させるような、**地域ごとの国が推計した医師の必要養成数に基づくシーリングは撤廃**し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること
- (2) 専門研修プログラムの募集定員については、医師の絶対数が著しく多い**東京都に専攻医を集中させないための対策を講ずる**こと
- (3) 都道府県別診療科ごとの必要養成数等については、地域において検証できるよう、**算定方法並びに算定に用いたデータを全て開示**して、丁寧な説明を行うこと